

6月25日：VN指数は小幅高 (VN-Index +0.19%)

- 昨夜の米国市場の上昇に倣い、昨日の急落とは対照的に VN 指数は前日終値を上回って開始した。
- しかし、流動性の伴わない慎重な相場展開の中で、方向感が定まらない推移が続いた。
- 情報技術セクターは一時大幅に上昇したが、その後利益確定と思われる強い売りの的となった。一方で不動産、銀行、金融セクターは上昇し、市場全体を支えた。
- 午後も同様の展開が続いた。銀行セクターは反落したが、物流関連株が代わりに上昇して埋め合わせた。
- 238 銘柄が上昇、161 銘柄が下落、81 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から下落。32.2%増の 21.5 兆ドンとなった。

VN30 指数市場の動向を下回る (VN-30 -0.08%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、14 銘柄が上昇し、9 銘柄が下落、7 銘柄が変わらずだった。
- VRE (+6.77%)がストップ高を記録し、(+1.82%)、BCM (+1.78%)、HDB (+1.12%)がその上昇に続いた。
- 好調な銘柄はあったものの、SSB (-6.42%)、BID (-1.78%)、FPT (-1.59%)、SAB (-1.46%)などが下落し、指数全体を引き下げた。

セクター・個別株の動き

- GMD (+1.22%)は株主総会の中で、地政学的リスクが影響し、2024 年も航空運賃は上昇を続けるとの見方を示した。これが好感され、HAH (+6.89%)、VSC (+3.33%)、VOS (+4.59%)といった物流関連株が上昇した。

- GEG (+1.45%)は 2024 年度の売上目標を 3.1 兆ドン（前年比+38%）、税引き前利益を 3350 億ドン（+72%）に設定したことを明らかにした。同社は再生可能エネルギー関連のプロジェクト戦略に注力する。
- 外国人投資家は 7070 億ドンの売り越し。顕著な買い越し銘柄は VCI (+2.64%) のみだった一方、外国人の売りは主に FUEVFNND、FPT (-1.59%)、MWG (0.00%)に集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。